

F2-54

東北地方太平洋沖地震の津波被災地における児童の地域認識に関する研究
—(その1)四倉小児童の居住地区別にみる地域資源と特徴—

A Study on Local Recognition of Elementary Children in the Great East Japan Earthquake and Tsunami Disaster Area
(Part1) About regional resources and characteristics in each residence

○阿部周斗¹, 横内憲久², 岡田智秀², 押田佳子², 大塚宏樹³, 石渡勇貴¹

* Shuto Abe¹, Norihisa Yokouchi², Tomohide Okada², Keiko Oshida², Hiroki Ohtsuka³, Yuki Ishiwata¹

Abstract: This paper aims to clarify characteristics of “Recommendation area in Yotsukura town of Iwaki city” were imagined by elementary school students. We held workshop twice; a) discussion about attractive resources. b) walking event to understand about their town. In conclusion, we clarified the elementary school students like their regions and their sea environments.

1. 研究目的—福島県いわき市四倉町(Figure1)は, 2011年3月に発生した東北地方太平洋沖地震による大津波を受けた被災地である. そのため, 復興まちづくり議論が進められているが, その対象は地元成人が主となっている. しかし, 今後のまちづくりの担い手として, 今もなお地元で生活し続けている子供世代が果たす役割は大きいと考えられるが, そうした世代が地元被災地をどのように認識しているかは定かでない. 当地域の今後のまちづくりの担い手となるであろう子供世代の現状の地域認識を捉え, 被災地でもある地元地域への愛着と誇りを育む取り組みは極めて重要と認識する. そこで本研究では, 本市四倉町において地元児童が被災地でもある地元地域への関心を高めていく手立てとしてまちづくりワークショップ(WS)を展開し, それを通じて地元児童の地域認識や地域資源および児童が抱く望ましい地域認識ルートについて明らかにする.

2. 取り組み内容—上述を背景に, 筆者らはいわき市立四倉小学校第6学年全56名を対象に, 次に示す全2回のWS(WS1, WS2)および児童らと担任教諭による「まちあるきパンフレット作成」を実施した(Table1).
①WS1; 観光客などを想定した四倉町(四倉小学校学区区域内)の「おすすめの場所」とそれらをつなぐまちあるきルートを検討(Photo1,2). その作業は児童の居住地区ごとに10班(A~J班)の少人数グループにより実施.
②WS2; WS1で作成したまちあるきルートを現地評価するために, 「説明組(WS1の班に属す児童)」と「評価組(説明組から遠い居住地区の児童)」を組合せた班を構成し, コースの現地評価と再編成を実施(Photo3).
③パンフレット作成—これまでのまとめとして, WS1と同様の班構成で児童と担任教諭のみで「四倉まちあるきパンフレット」を作成.



Figure1. Outline of each area in Fukushima [図:筆者作成]
Table1. Contents of activity [表:筆者作成]

取組事項	第1回 四倉ふるさとづくりワークショップ(WS1)	第2回 四倉ふるさとづくりワークショップ(WS2)	四倉まちあるきパンフレット作成
実施主体	日本大学 岡田研究室 四倉ふれあい市民会議 いわき市立四倉小学校	日本大学 岡田研究室 四倉ふれあい市民会議 いわき市立四倉小学校	いわき市立四倉小学校
日時	2013(平成25)年6月13日(木) 13:30~15:10	2013(平成25)年7月11日(木) 10:10~15:10	2013(平成25)年7月12日(金) ~7月18日(木)
場所	いわき市立四倉小学校 6年生54人	いわき市立四倉小学校 6年生56人	いわき市立四倉小学校 6年生56人 担任教諭2名
人数	+大学教員・大学生11名 +四倉小校長・担任教諭3名 +四倉ふれあい市民会議10名	+大学教員・大学生11名 +四倉小校長・担任教諭3名 +四倉ふれあい市民会議10名	
班構成	6年生4~8名 +大学生1名 +四倉ふれあい市民会議1名 ×10班(A~J)	6年生4~8名 +大学生1名 +四倉ふれあい市民会議1名 ×10班(A~J)	第1回 四倉ふるさとづくりワークショップと同様
	A班:東二・三丁目(6名) B班:西一丁目(6名) C班:西二・三丁目(7名) D班:西四丁目(7名) E班:五・六丁目(8名) F班:梅ヶ丘(4名) G班:梅ヶ丘南(4名) H班:鬼越(4名) I班:町田・北向(4名) J班:和真団地(4名)	A班:東二丁目(2名)+町田・北向(2名) B班:西一丁目(2名)+和真(3名) C班:西二・三丁目(2名)+梅ヶ丘(3名) D班:西四丁目(2名)+鬼越(2名) E班:五・六丁目(2名)+梅ヶ丘南(2名) F班:梅ヶ丘(2名)+西二・三丁目(5名) G班:梅ヶ丘南(2名)+五・六丁目(6名) H班:鬼越(2名)+西四丁目(5名) I班:町田・北向(2名)+東二・三丁目(4名) J班:和真(2名)+西一丁目(4名)	

Table2. Investigation outline [表:筆者作成]

調査概要	1. WS1, 2の成果物読取調査	2. ヒアリング調査
調査期間	2013年9月1日(日)~9月30日(月)	2013年9月21日(土)~9月23日(月)
調査内容	WS1, 2における各班の成果物の中から, まちあるきルートとおすすめの場所を抽出	成果物読取調査において, 整合性を確かめるためWSの学生ファシリテーター(10人)にヒアリング

